

The Northern eXpress to 212



90

オンラインプレス「NEXT212」毎週月曜日発行
PM実践講座事務局 / 地域メディア研究所
Fax (011)761-8483 Tel (011)761-6039

vol.90 12.Aug,2002

- 市町村合併の論点(3) 大都市、財源の行方は
- 212ふるさと情報 どうなってるの？市職員の給与
- 自治体北南 4町村が清流保全条例
- DATA 「まちづくりボランティア」町村の参加率 20%

陛下の出張報告書

▼...今上天皇が皇太子時代に北海道東部を行啓した際、随行記者として面白い場面を目撃した。殿下は夜明けとともにサロマ湖畔のホテルを抜け出し、胴長姿で湖に入れられた。手元のおぼつかないお付きの者に代り「どれどれ」とばかりに手綱を操った。従者よりはるかに腰が据わり、それはプロの手仕事だった。

▼...公務の合間を縫ってのいわば「お忍び」だが、そんなシーンを忘れかけたころ、サロマで見つけたのは新種のハゼ~というニュースが宮内庁から流れてきた。殿下は200海里時代の余波に苦しむオホーツク漁民を力づけるだけでなく、生物学者としても確かな足跡を残したのだ。

▼...しかし、私は、ハゼの発見が偶然とは思えない。恐らくは、訪問先の住民の状況を十分下調べしたと同様に、湖についても丹念に事前調査していたに違いない。そこには、資料の収集、推測と仮説、さらに現地での検証というデスクワークとフィールドワークを連携させた科学者の手法が透けて見える。

▼...私達の出張や視察に重ね合わせるのは、恐れ多いが、出張自体が目的化し、視察という名の大名旅行がまだまかり通ってはいないか。議員の視察旅費が監査対象となること自体問題だが、視察の成果こそが問われるべき。せめて市民に公開を。陛下の論文は26編にも上っている。(梶)

市町村合併の論点 (3)

地方制度調査会の動きから

大都市の自立性・機能を高める

市町村合併の進展は、巨大都市の誕生という側面も持っています。たとえば、日本青年会議所が97年に発表した道州制構想では、全国を339市に再編した場合、人口100万人以上の都市が30(2001年3月末現在10市)、50万人以上100万人未満が45市(同17市)と想定しています。現に2001年5月に3市が合併したさいたま市は100万人超の都市となり、現在合併協議を進めている自治体の中にも、政令市(人口50万人以上が目安)や中核市(同30万人)、特別市(同20万人)を目標にした動きが目立っています。

■ 都道府県との役割分担が焦点

地方自治制度を見直す上では、小規模町村の問題と並んでこれら的大都市をどう位置付ける

か、都道府県や近隣の中小都市、町村とどう関係づけるかが焦点となっています。特に、都道府県との関係では、道州制とも関連して都道府県とどう役割分担するのかが、最大の論点となりそうです。

大きな流れとしては、大都市の自立性を高め、都道府県からの独立性も高める方向にあります。が、大都市にはさまざまな形態が見られます。人口50万人以上の都市には、さまざまな都市機能を完結した形で保つ自治体がある一方で、大量の昼間人口を引き受け中枢的な業務に特化した自治体や、逆に3大都市圏には居住機能を主体とした自治体も少なくありません。

これらの自治体では都市機能の在り方と併せて、都道府県との関係では税財源をどう配分するかも大きな論点となっていきそうです。

大都市の在り方に関する論点

● 大都市の形態

- ・大都市自治体の基本的なイメージとしては、中核市程度の規模を想定すべきか、政令市並の規模を想定するのか。
- ・政令市などの中には、さまざまな形態と機能を持った団体があるが、大都市制度のあるべき姿を検討するにあたり、その違いをどう考えるか。

● 都道府県との関係

- ・都道府県に対し大都市の自立性をより高める方向で考えるべきか、それとも、都道府県の役割を高める方向で考えるべきか。
- ・政令市のような大都市の権能・財源を拡大する場合でも、都道府県から完全に独立させずに水平的な関係を保ちつつ、都道府県の調整権限的なものが及ぶものとすべきか。
- ・政令市のような大都市を都道府県から完全に独立させ、市の権能と府県としての権能を併せ持った「特別市」を制度化することについてどう考えるか。
- ・大都市と都道府県の関係の抜本的な改変を別としても、さしあたり、政令市のような大都市と都道府県の関係で、例えば、税財源配分を組み替えることなどについてどう考えるか。
- ・大都市地域における都道府県の議員のあり方。

税源移譲、地域の自己責任明確化

地方分権は、国から地方への財源移譲とこれらの財源に基づく地域の自己決定・自己責任と強く結び付いたテーマであることは言うまでもありません。また、2002年度末で国と地方を合わせた長期債務残高が約693兆円に上る見込みで、財政の健全化と財政基盤整備を同時に進めなければならない、厳しい実態にもあります。

■市町村再編と絡む財源問題

2000年度決算では、国の歳出総額は約62兆9600億円で、自治体は約96兆700億円。4対6の割合で地方がより大きな仕事をしているにもかかわらず、国税収入(約50兆7100億円)に対して基本財源である地方税収入は約35兆5500億円にとどまり、その比率は6対4と逆転します。こうした財政構造の見直しと、地域に

おける受益と負担の関係をどう明確化していくかが、大きな論点となります。

基本的な流れとしては、国から地方への税源移譲と、歳出面でできるだけ地方自治体の自由度を高めることが柱となるはずです。「地方のことは地方に任せ、財政面でも地方が責任を負う」という考えで、地方の独自課税や外形標準課税の導入拡大も論点となってきますが、一方では、税源移譲してもなお自治体間に財政力格差が残る場合も想定されます。

地方交付税など国による財源調整で対処していくのか、財政力の弱い小規模自治体には新たな対応策を組み立てるのか、それとも実質的な強制合併とするのか。財政と自治体債編は強く結び付いて論議が進むことになりそうです。

分権時代の財政基盤確立に関する論点

- ・税源移譲などで地方税の拡充を図り、地方税中心の歳入構造の実現と地域における受益と負担の関係の明確化を図る必要があるのではないかな。
- ・住民の税負担の水準は、行政サービスの水準との関係において、地域においてより自主的に決められることが望ましいのではないかな。
- ・地方自治体にあっては、特に、個人レベルにおいても受益・負担関係が明確な税財政体系が求められるのではないかな。
- ・地方税における応益性の空洞化に対応するため、法人事業税への外形標準課税の導入を図るべきではないかな。
- ・地方団体の歳出に対する国の関与を廃止、縮減し、地方団体の歳出面における自由度を高める必要があるのではないかな。
- ・税源移譲を含む国、地方間の税源配分の見直しに際しては、まず国の関与の強い国庫補助負担金の大幅な縮減を図り、相当額の地方税への振替えを図るべきではないかな。
- ・その際、地域間の財政力格差の問題を考慮して、移譲税目や課税内容について十分検討するとともに、国庫補助負担金などの在り方についても検討する必要があるのではないかな。
- ・税制上考慮してもなお残る、税源移譲に伴う地域間の財政力格差の拡大や、国の関与を縮小してもなお必要な財源調整に対しては、地方交付税などによる適切な措置を講じる必要があるのではないかな。

「しくみづくり」地方からも声を

地方制度調査会の検討課題をまとめると、概ね以下の内容になるかと思います。

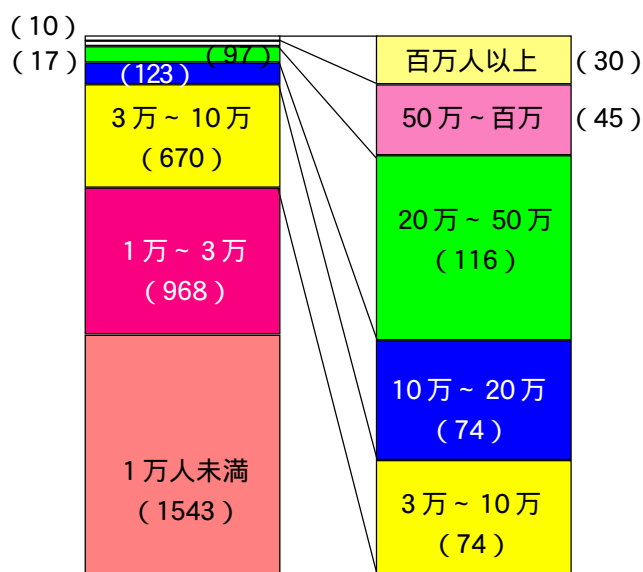
- 基礎的自治体の機能、組織の位置付け
- 合併の流れから取り残された小規模町村をどう補完するか
- 合併で大型化した都市と都道府県との関係
- 都道府県の見直しと道州制導入
- 財源の見直しと財政健全化の目標と道筋をどう付けるか
- 地方制度見直しに当たって、地域の多様性・自主性をどこまで認めるか

■合併論から制度論へ

これらの課題は、日本の地方自治制度を大きく変える要素を含んでおり、論議は現在の仕組みの中での「合併論」から仕組みそのものを問い直す「制度論」へとシフトされています。

調査会の中間報告は、2003年3月までにまとめられる見込みで、合併特例法の期限まで2年間を残すだけのこの時期には合併の流れの大勢がほぼ見える状況になっていると予想されます。

【人口規模別自治体数】



2001年3月末

日本J Cの道州制構想

一方、市町村の中には、中間報告の方向を見定めてから、とか特例措置の延長に期待を寄せる向きもあるようです。

しかし、中央での論議の焦点が「再編をどう進めるか」よりも「地方の仕組みをどう変えるか」という問題に移っていることを考えると、「今住んでいる地域をどうしていくのか」市町村（住民）自身がこれまで以上に明確な方向付けをしなければ、制度改革の大波に飲み込まれかねない状況に置かれているとも言えます。

■最低単位は人口1万人？

小規模町村の在り方について総務省内部で検討してきた研究会は、合併特例法以降の措置として人口1万人を市町村の最低人口規模とし、これに満たない町村を大胆に「整理」する考えも示しています。調査会においても同様の議論が出てくる可能性は十分あり、単純な反対論だけでは通用しないことも予想されます。

合併論議は「是非論・損得論」に終始している面もあるようですが、合併という選択肢を視野に入れながら、地域づくりの方向を見定めるとともに、そのための地方制度の在り方についても、市町村が具体的な道筋を提起していくことが求められています。地方のしくみづくりを総務省や調査会の論議に任せるだけでなく、積極的に地方から声を上げていくことも大事だと思います。

先進的な取り組みを進めている県知事が地方制度改革に向けた「知事連合」を結成したように、小規模町村連合による広汎な議論と具体的な提案があっても良いのではないのでしょうか。合併をめぐる研究会や協議会に対しても、こうした議論の広がりとその成果を期待したいところです。

拾い読み H P

212 ふるさと情報



■ 8/9 滝川市 市職員の給与状況 「平成14年度職員の給与等の状況」とのタイトルで、市職員給与の詳しい解説ページがアップされています。

■ 8/9 壮瞥町 雪合戦番付表 日本雪合戦連盟公認「平成14年番付表」(PDF版)がアップされています。

■ 8/9 浜益村 浜益産米地酒 「浜益のお酒、今年もできました」とのタイトルで、浜益産米地酒の情報がアップされています。

■ 8/9 鹿追町 草刈機の貸し出しサービス 草刈機の貸し出しサービス情報がアップされています。利用できるのは、町民または町内に土地を所有する人で、利用料は無料とか。いろいろな住民サービスがあるものですね。

■ 8/9 名寄市 見ごろ指数20% 智恵文ひまわり畑情報が更新されています。見ごろ指数は20%。このところの天候不順で生育は今ひとつとか。見ごろを迎えるのはもう少し先のようにです。

■ 8/9 鶴居村 タンチョウクイズ ホームページがリニューアルし、タンチョウの飛来数を予測する「第16回タンチョウクイズ」の詳しい情報がアップされています。

■ 8/9 沼田町 夜高あんどん祭り写真集

「沼田夜高あんどん祭り 25周年記念写真集」情報がアップされています。オールカラー版 83ページで 3000 円だそうです。

■ 8/2 札幌市 動画情報の配信実験 「さっぼろ いい人、いい店、いい話」のタイトルで、地域情報のリアルタイム動画配信実験コーナーが開設されています。テレビ電話機能を持った第3世代携帯電話「FOMA」を使っのての実験で、取材・編集は地元日刊紙の記者と学生ボランティアが担当、ブロードバンド時代の新しい情報提供のあり方を探る試みだそうです。9月末まで。

■ 8/2 千歳市 光ネットに市民映像ライブラリ 市民のビデオ作品募集情報がアップされています。同市は、NTT研究所と共同で、光通信技術を駆使した「千歳光トライアル」を実施しており、市民のビデオ作品をライブラリに登録、市内6施設の端末で公開し、9月末まで自由に視聴できるようにするようです。

■ 8/2 石狩市 市民農園のパブリックコメント 平成15年5月に開設予定の市民農園の概要と、利用条件および貸付料に関する市の原案、それに対する意見募集のページがアップされています。

What's new?

市民農園についての **実施!**

パブリックコメント

市庁舎の公共施設は位置などが異なります。

市では、都市住民が自然や土をふれあいながら、植物を栽培・収穫する喜びなどを体感してもらうことや、都市と農村の交流による農村の活性化、農業に対する都市住民の理解を深めることを目的に平成15年5月に市民農園を開設する予定です。

市民農園の概要

パブリックコメント（意見募集） 8月1日から実施!

市民農園の4月開園後も引き続き貸付料に関して、市民の皆さんの意見を募集します。たくさんのご意見をお待ちしております。詳しい内容については、あい・ボーダー、情報公開コーナー（お問合し）でもご覧いただけます。

市の原案の概要

提出方法

匿名・住所等連絡先を明記し、意見書の持参、郵送、ファックス、電子メール、携帯電話等で8月31日（月）までに提出してください。意見はご本人でも提出できます。

石狩市農園

市庁舎の公共施設は位置などが異なります。

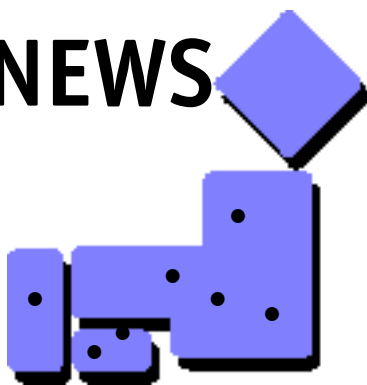
Flash

- 農園まつり **開催!**
- 市民公開講座
- 小・中学生の体験 農園の活用
- 市民プールオープン
- 平成15年度市民農園 貸付料減額制度について
- 市民農園の活用
- 農園作品

(アクセスは <http://com212.com> からどうぞ)

NeXT
press 212

NEWS



●8/6 丸亀市(香川県) 市民が主体で条例づくり

丸亀市は、市民が主体となって条例の立案作業に取り組む「自治基本条例を考える会」を設置することになった。まちづくりの基本原則や行政運営の仕組みを規定したいわば「まちづくりの憲法」で、2004年度の制定を目指す。考える会は、公募による市民や市職員らで構成する。住民と行政の協働により、まちづくりにへの共通認識を深めるとともに、職員の立案能力を高める狙いもある。

●8/5 広見町(愛媛県) 4町村が四万十川支流保全で条例制定へ

広見町、三間町、松野町、日吉村の4町村は、四万十川支流の水環境や景観、生態系の保全を目指した条例をそろって制定することになり、早ければ9月の定例議会に提案する。高知県側では県や流域市町村が同様の条例を制定しており、上流域にある愛媛県側でも足並みをそろえる。

●8/1 岩城町(秋田県) 合併相手問う住民投票条例提案へ

岩城町は、合併の相手自治体などを直接町民に問う住民投票条例案を提案する考えを町議会に示した。7月に実施した住民アンケートでは、合併に賛成する町民は約70%を占め、合併の相手としては「秋田市とその周辺」が約48%、「本荘市とその周辺」が約41%と拮抗した。県の合併パターンでは「本荘・由利広域市」が提示され、本荘市は同町などに合併の検討を求めている。

●8/1 戸田市(埼玉県) パブリック・コメント制度要綱案

戸田市は、市の基本政策や計画、宣言、憲章など市民生活に関連する政策・施策などを立案する際に、目的や具体的な素案、資料などを

市民に公表し決定前に意見を求める「市民パブリック・コメント制度」の要綱案をまとめた。関連情報・資料は、市のホームページや市政情報室などで最低3週間以上公表し、この間に意見を求める。利害関係があれば市外の者でも意見を提出できる。

●8/1 弥栄町(京都府) 丹後6町の社会福祉協議会も合併準備会

弥栄、丹後、丹後、峰山、大宮、網野、久美浜町の各社会福祉協議会は、「丹後6町社協合併協議会準備会」を設置、6町の合併協議会の動向を見ながら社会福祉協議会の方向を検討することになった。社会福祉法では1自治体に1協議会と限定されており、丹後6町が合併し新市に移行した場合、社協も合併が避けられない。今後、福祉サービスをどう維持・発展させるかなどについて協議する。

●7/29 多治見市(岐阜県) 個人情報保護の独自要綱

多治見市は、住民基本ネットワークの稼動に合わせて、個人情報保護のための独自の「セキュリティー規程」を施行することになった。市民からの苦情に対する庁内組織の設置、個人情報ที่ไม่適切に扱われた場合の措置などを定めている。

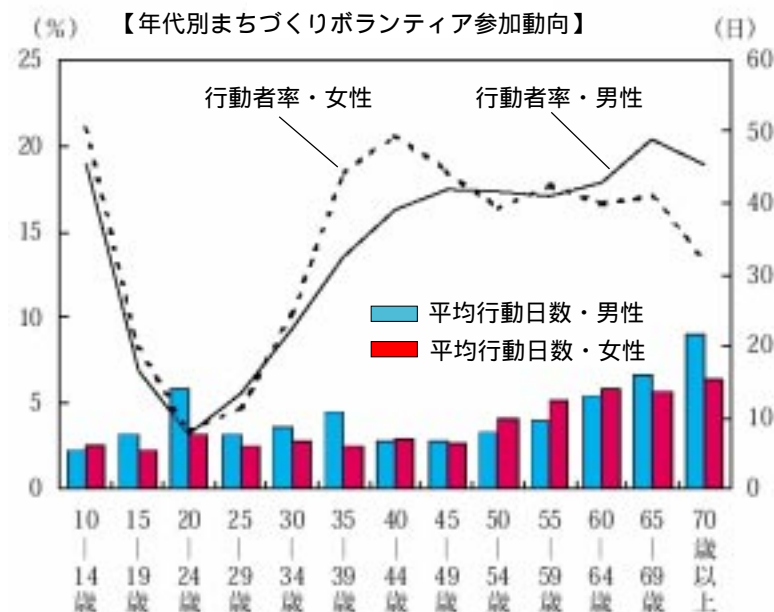
●7/25 免田町(熊本県) 中球磨5町村合併したら... 2村で水道料金値上げに

免田町など中球磨5町村による合併協議会は、合併後の水道料金について一般家庭用の基本料金を8立方メートルまで月額860円、超過分は1立方メートルあたり120円(消費税除く)とすることで合意した。標準的な4人世帯の場合、原稿に比べて2村で最大1075円の値上げ、1町で現状維持、2村で最大225円値下げになる。

(詳細情報はNEXT編集室へ)

DATA

「まちづくりボランティア」7人に1人参加



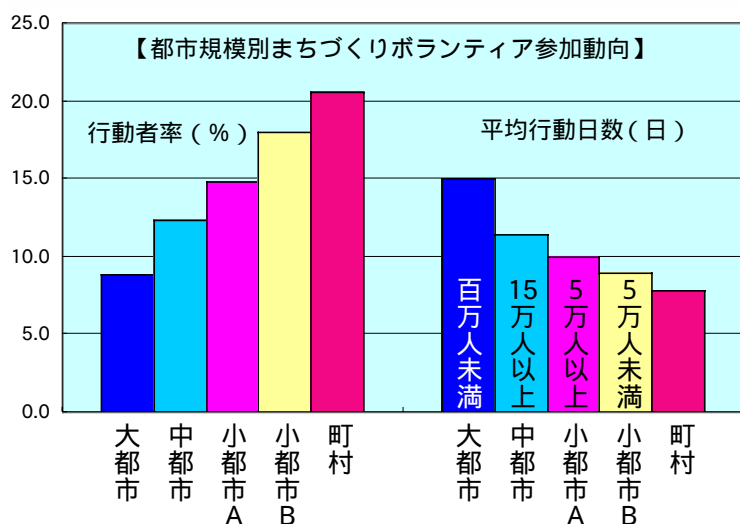
ボランティア活動の対象を分野別で見ると、「まちづくりのための活動」が1584万7千人(行動者率14.0%)と最も多く、「自然や環境を守るための活動」の906万9千人(8.0%)、「安全な生活のための活動」の624万3千人(5.5%)、「子供を対象とした活動」の602万6千人(5.3%)などが続いた。

■町村での参加率は20%を超える

「まちづくりボランティア」を世代別で見ると、男女とも30歳代後半から行動率が高くなり、女性では40歳代前半、男性では60歳代後半に参加のピークがある。平均行動日数では、20歳代前半の若い層の参加が目につく。

都市の規模別では、小規模な市町村ほど住民の行動率が高く、大都市ほど行動率は低い。平均行動日数は多くになる傾向を見せた。

「まちづくりボランティア」については特に、参加のすそ野が幅広い世代に広がることと併せて、活動の成果がまちづくりに直結するような体制の整備も求められている。(総務省・2001年社会生活基本調査から)



2001年10月までの1年間に何らかの形でボランティア活動を行った人は、全国で推定約3263万人に上り、10歳以上の人口に占める割合(行動者率)は28.9%だった。行動者率は、前回調査の96年に比べて約3.6ポイント上昇し、ボランティア活動の広がりをうかがわせた。

行動者率を男女別で見ると、男性27.0%に対し女性は30.6%(1777万8千人)で、女性の割合の高さが目立つ。96年と比較すると、男性は2.8ポイント、女性は4.2ポイント上昇となった。



com212.com

Computer for communication

INFORMATION

次週8月19日は休刊とし、次回・第91号の発行は8月26日といたします。

本誌の継続配信のご希望の場合は、こちらへどうぞ。(配信は無料です) 事務局：電話011(761)6039

NeXT 212 press